国際ロータリークラブ第2730地区　日南ロータリークラブ

会長時間

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

「ロータリーの原点に戻る」

例会日　毎週水曜日　12：30～　　例会場　ホテルシーズン日南
住所　日南市園田3-11-1　TEL 0987-22-5151　FAX 0987-22-9588　　会長　豊田裕康

９月　１日

宮崎県が蔓延防止等重点措置の対象地域となり、9月12日まで日南串間圏域の赤圏域が継続することが確実となりましたので、本日の例会と8日の例会について取消とすることを理事会にて決定致しました。

幹事からメールにて会員の皆様に報告がありましたが、今後も新型コロナウイルスの感染状況による例会取消がなされる可能性がありますので、例会取消時に会長幹事の文書報告をする以外に、例会行事にあわせてテーマ担当者に文書にてご提出をお願いすることとなりました。具体的には、結婚・誕生卓話が例会行事の際には、該当会員の方に卓話内容を文書にして頂いて幹事にてとりまとめをし、会員の皆様にご報告する形とする予定です。

少しでもロータリー活動へのモチベーションを維持するため、皆様のご協力をお願い申し上げます。

日南市内では，少ないものの、毎日のように感染者の発表が続いており、気を抜くことのできない状況が続いております。

私もようやく今月中に2回のワクチン接種の予約ができ、ほとんどの会員の皆様も今月中には2回のワクチン接種を終えるのではないかと思います。ワクチン接種が終わったとしても、感染の危険や人に移す危険があることは変わりありませんので，今後と同様，引き続き感染予防対策の徹底をお願い申し上げます。

本日9月1日は防災の日です。私が子供のころは学校の2学期始業式は9月1日でしたので、2学期の始業式イコール防災訓練というイメージでしたが、現在では２学期の開始が地域や学校によって様々のようです。

1923年9月1日に関東大震災が発生したことからこの日が防災の日と制定されました。地震津波だけでなく、近年は，毎年のように豪雨災害が全国で発生しており、もはや異常事態とはいえない状況となっております。いつ自分たちも災害に遭うか分からない状況であり、特に南海トラフ巨大地震が発生した際には甚大な人的物的被害が発生するとされておりますので、今一度防災マップで自宅や職場の危険度や災害発生時の避難経路等をご確認頂ければと思います。

(会長時間)

1　9月は、RIの定めたロータリーの重点分野の一つである「基本的教育と識字率向上」月間であるとともに、日本独自の月間テーマである「ロータリーの友」月間となっております。

ロータリーの友月間に関しましては、今月が雑誌・会報・広報委員会の委員会アワー担当月間ですので、担当委員長より報告があると思います。

2　RIは、 できるだけ多くの人々が基本的教育を受け識字率が向上することによって、地域社会の力を強めることを目標としています。また，男女間の教育格差を減らすことで、地域社会で埋もれている女性の活躍の場をつくることができます。

基本的教育と識字率向上など、義務教育制度の完備された現代日本では関係ないのではないかと思われる方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、日本社会の構成員は日本人だけではなく、外国人の労働力がなければ日本社会は成り立たなくなっていることは周知の事実です。

義務教育は、日本人保護者にとっては子供を就学させる義務となっていますが、外国人については就学義務はありません。外国人の子供が日本の公立義務教育諸学校へ入学を希望する場合には、国際人権規約等も踏まえて日本人児童生徒と同様に無償で受け入れ、教科書の無償配布及び就学援助も含め，日本人と

同一の教育を受ける機会が保証されています。

しかし、就学のための準備費用や毎月の給食費等の支出ができないことや、日本語能力の問題等で、日本在住外国人の児童のうち6人に1人が学校に行かずに基本的教育を受けることができない状態となっています。

一方，日本人の児童全てが基本的教育を十分受けられているかというと、必ずしもそうでないのが現状です。近年、子供の貧困問題がマスコミで取り上げられることも多くなっていますが、わが国の子供の7人に1人が貧困状態（可処分所得の平均値の半分未満の世帯）にあり、OECD加盟国の中で最悪レベルにあるとのことです。

貧困状態にある世帯では、子供に十分な基本的教育と体験の機会を与えることができず、地域や社会から孤立し、高等教育を受ける機会を得られないことで、大人になってからの所得格差にも繋がってしまいます。子供の貧困を改善する取り組みをした場合は、所得増に伴い個人の税・社会保障費用の支払いが増えるために国の財政負担がその分軽減されます。日本財団が、改善する取り組みをした場合としなかった場合の国の財政負担の差分を社会的損失として試算したところ、１学年あたりの経済的損失だけでも約2.9兆円に達し、政府の財政負担が１．１兆円増加すると推計しています。

これは外国人の子供についても同様で、外国人の子供が日本で十分な基本的教育を受け，将来大人になった際に十分な収入を得ることができれば，その分彼らの支払う税・社会保障費用は増加するわけですから、日本社会の発展のためにもなります。

日南でもこども食堂の取り組みがなされていますが、会員の皆様も、これを機会に改めて子供の貧困問題についてお考え頂ければと思います。

結婚誕生者卓話　　黒岩久登君（誕生 1961）

クラブ例会が中止の時には卓話を投稿する事になりましたので提出します。例年そうなのですが誕生日の話はあまりありませんので今日は最近の建築業界についてお話します。

ご存じの通り業界は今ウッドショック、メタルショックの渦中にあり、それに伴う資材の高騰により見積もり価格が年度当初よりも1割から2割程度上昇し、契約後に見積もり金額のアップを求められるケースがありトラブルも増えています。

ウッドショックについてはコロナの影響による巣ごもりでアメリカの住宅需要が増加し、日本に木材が入ってこない事が要因だそうですが、木材の一大産地である宮崎県に住む私達からすると非常に違和感を覚えるとともに、業界の体質の脆弱さを痛感します。アメリカで家が建つと日本の木材の値段が跳ね上がるという事実はこれから業界が改善に取り組むべき事案だと感じます。

メタルショックについては、原油の高騰が原因だそうですが、こちらはまた別の機会にお話します。あと、最近の住宅は洋風化が進み日本の住宅における文化の危機に瀕しています。和室がなくなり、犬走りがなくなり、瓦屋根が減り、縁側がなくなっています。時代の流れとはいえ一抹の淋しさを感じます。和室の上部に回してある長押（なげし）を皆様はご存じだと思いますが、長押の裏側は壁には付いてなくて上部の方は壁から離してあります。ハンガーをかけるためだと思っている人が多いですが、実は昔の屏風を倒れないように長押と屏風を挟むためにすかしてあるそうです。和室の床の間には筆返しという部分がありますが、御察しの通り昔習字の筆についた墨汁を筆返しで料を調整して書いた名残りで現在は使用するためではありませんが文化、和室にあるべき物としてベテランの大工さんは作られます。

話は日南市の話になりますが、市内には「けんじ」という新築祝いを表す言葉があります。以前宮日新聞がどういう漢字があてはまるのか記事の中で色々書いてくれたことがありました。が、現在は建築関係者でも「けんじ」という言葉を知らない人がいるのには衝撃を受けました。当然そこで歌われる祝い歌（うれしゅ、めでた）は全く聞いたこともないそうです。確実に日南の昔から伝えられた伝統が一つなくなります。ただ私が「けんじ」に参加し誰も歌わない時は私が伝統を守って歌うでしょう。その時は手拍子よろしくお願いします。

９月　８日

日南市内では連日新型コロナウイルス感染者の発表があり、お知り合いが感染されたという会員の皆様も多いのではないかと思います。誰でも感染しうる状況ですから、誹謗中傷だけでなく、安易な憶測で話しをす

るのも慎重になる必要があるかと思います。私の仕事柄、感染者と決めつけられたとか、職場の上司が情報を漏らしたというような話しがきており、会員の皆様におかれましても慎重な行動をお願い致します。

先週の河野知事の会見で、県独自の緊急事態宣言を12日で解除するのは難しいとのお話しがありました。従いまして、来週15日の例会も取消とすることを理事会で決議し、22日は当初より休会予定でしたので、29日の例会は状況を見て開催するかどうかを決めることとなりました。日南市内でも家庭内感染が広がっていることから、大人数で集まるのを控えざるをえないと思います。

先週の土曜日、私も1回目のワクチン接種をしました。1回目の接種は副反応が少ないという話しを聞いていたのですが、接種したその日から痛くて肩があげられないくらいになり、翌日は朝着替えるのに苦労しました。2回目は副反応が酷いという話しを聞きますので、接種二日目まで仕事の予定を空けておこうと思っています。

これからはインフルエンザの予防接種のように毎年コロナワクチンの接種が必要になるかもしれませんが、十分な量のワクチンが供給されるようになり、アメリカのようにドラッグストアやスーパーマーケットで手軽にワクチン接種できる環境が整えられると良いなと、テレビを見ていて思いました（規制の関係で日本では難しいかもしれませんが）。

（会長時間）

1　引き続き、日本がこれまで何度か経験してきたパンデミックのうち、日本の全人口の3割が死亡したとされる奈良時代の天然痘の流行についてお話ししたいと思います。数年前に直木賞候補となった澤田瞳子さんの「火定」という小説が、ちょうどこの天平のパンデミックを題材とした小説でした。奈良時代の天然痘流行以降の日本の生活様式の変化は、アフターコロナの生活様式を模索している現在と対比できるのではないかと思います。

2　天然痘は，致死率が20％～50％に達する恐ろしい感染症で、治癒した場合でも顔面に酷い瘢痕が残るため，江戸時代には「美目定めの病」と言われて忌み嫌われていたそうです。1980年5月にWHOが根絶宣言をして以来、天然痘患者は発生していません。天然痘は、人類が初めてかつ唯一根絶に成功した人類に有害な感染症ということです。

3　日本での流行

日本には，735～737年にかけて九州北部に大陸又は朝鮮半島から天然痘が持ち込まれました。この大流行により人口が激減して田畑が放棄され国家収入が激減し、朝廷により税の免除や食料・医療の提供といった政策が行われました。朝廷の閣僚8人中5人が死亡するという異常事態の後にパンデミックが終息し，聖武天皇は大仏建立を決意したということです。

パンデミックに対する対策ですが、①水際対策としての道饗祭（みちあえのまつり）、②大皿を使った料理提供、食器の使い回しの禁止とうい生活様式の変化があったということです。

① 水際対策としての道饗祭ですが、当時疫病は鬼が引き起こすと信じられ、九州から平城京までやってきた鬼に帰ってもらうため、長門（山口県）より東の諸国より奈良の平城京の入り口にかけて道路の上で鬼を饗応して帰ってもらうための道饗祭を行うように朝廷から指示が出されました。現代からすると笑ってしまうようなことですが、当時の常識（鬼がやってきて感染症を引き起こす）からすると、現在の我々が水際対策として外国からの入国を制限するのと同じことではないかと思います。

② 大皿や食器の使い回しを制限する点については、当時の人々は、鬼が原因で疫病が広まるとしても、病人と接触すると病気がうつるということを経験として分かっていたからではないかと思います。天然痘パンデミック前の日本では、食事の際に大皿に盛った料理を各人が取り分けて食べるのが普通でした。ところが、パンデミック以降の出土品は明らかに食器が小型化しており、各人がそれぞれ個別の皿に最初から盛り付けをするように生活様式が変化したことが分かります。また、平城京のゴミ捨て穴からは大量の小型食器が発掘されています。これについては、当時の食器が素焼きの土器であり、表面がザラザラしていて食事後に水洗いしたとしても完全に汚れをとることは困難であることから、パンデミック後はある程度汚れた食器はすぐ廃棄するようになったのではと言われています。

現在でも、新型コロナウイルスの感染拡大以来、ビュッフェ形式や大皿形式の食事は避けられるようになっていることと重なります。

パンデミックの発生以来、①マスクを常時着用し手指消毒を徹底、②大人数での会食は避ける、③食事

の際には黙って食べる、等が強く求められ、以前の生活が大幅に制限されてしまっております。
今後天然痘のように致死率の高い感染症のパンデミックが発生する可能性がゼロではありませんし、常に高いレベルでの感染症対策を心がけることは今後の致死的な感染症に備える意味で無駄ではないと思いますので、皆様も感染対策の継続をお願い申し上げます。

結婚誕生者卓話　　野崎正彦君（結婚、1983）

今年で、結婚38年に成ります。長いのか、短いのか分かりません。仕事に休みがないので、家族には迷惑をかけています。家族で旅行に行った事が有りません。寂しい思いをさせました、皆も理解してくれています。今コロナが流行しています。皆さんの生活も大変だと思います。早く終息して元の生活に戻りたいですね、ロータリーも休会が続き、皆さんと会う機会が無いので寂しいです。早く例会が再開出来る日を楽しみに待っています、身体に気を付けてお過ごし下さい。

新入会員卓話　　甲斐信之君

会員の皆様におかれましては、新型コロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言中であり、感染防止に尽力されていることと存じます。

このような大変な状況の中、当金庫において、7 月 5 日に不祥事件が発覚し、8 月 20 日に公表させて頂きました。

さらに、8 月 25 日には北郷支店職員 2 名の新型コロナ感染が判明し、会員の皆様には大変ご迷惑、ご心配をお掛け致しまして心よりお詫び申し上げます。

不祥事件の概要については、公表させて頂いたとおりであり、詳細については現在も調査を継続しており、私も対策委員会のメンバーとして全容解明と再発防止策に取り組んでいます。

新型コロナ感染状況については、8 月 25 日、北郷支店の窓口及びＡＴＭコーナーを閉鎖し専門業者による消毒を行い、翌日から支店職員全員を入れ替えて営業を再開、私も 8 月 26 日から 9 月 3 日まで北郷支店に勤務しておりました。

感染した 2 名については、症状も軽く順調に回復しており、自宅療養中であり、それ以外の北郷支店職員については、全員の検査結果が陰性であり症状もなく、9 月 6 日より出勤しております。

新型コロナ感染防止については、昨年より職員に対して、3 密を避けるなど徹底した対策を促しておりましたが、いざ感染者が出ると支店職員全員が濃厚接触者となり、業務に多大なる影響を及ぼすのはもちろんのこと、もっとも心配したのは、感染者の病状並びに濃厚接触者となった職員の健康状態でありました。

幸いにも感染者の症状は軽く、濃厚接触者の健康状態も症状はなかったものの、家族や職場に迷惑をかけたことへの自責の念に駆られ、職員の動揺が激しく精神的に落込んでおり、職場復帰に向けたサポートの重要性を再認識しました。

最後に、私がまだ入庫数年目の頃、当時の役員さんが『一隅を照らす』という言葉をお話下さいました。ご存じの方も多いと思いますが、一人ひとりの力は微力であっても、置かれている立場や環境で精一杯努力することが、組織全体にとって最も重要であると教わりました。改めて再認識するとともに、不祥事件並びに新型コロナ感染防止にあたり職員に話してやりたいと思います。

新入会員卓話がこのようなご挨拶となり大変申し訳なく思っております。

不祥事件により、当面の間、活動を自粛しており、重ねてご迷惑をお掛けしますが、自粛が明ましたら精一杯努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

9 月 15 日

1　みなさん、こんにちは。

とうとう日南市が宮崎県内で最も多くの感染者を出すに至ってしまいました。小中学生とその家庭内での感染が広まっているようです。

日南市内の小中学校で陽性者が確認されると、保健所の判断を待たずに当該校の児童生徒及び教職員を自宅待機とし、自宅待機期間中は児童クラブ及び放課後子供教室についても閉鎖するとの対応がとられています。

日南市内で子供を育てる保護者の多くが、実家等子供を預かってくれる場所がない方です。仮に預かって

くれる実家等があるとしても、保健所の判断が出る前で当該生徒が濃厚接触者にあたり検査が必要かどうか不明な状態であることから、持病があったり高齢のご両親のいる実家等に預けることができない場合も多いと思います。

そのため、小学校高学年以上にもなれば１人で留守番させることもできるでしょうが、低学年だと１人で留守番をさせることができないため、仕事を早退したり翌日以降の休校日は仕事を休まざるを得ない保護者の方が多くいらっしゃるとのことです。

また、医療福祉施設で勤務されている保護者の方の中には、自分の子供が濃厚接触者に該当するか不明な状態のため、保健所の判断が出るまで仕事を休むように指示される方もいらっしゃるとのことです。

休校は数日ですが、今後も同じようなことが起こるのは間違いないわけですから、子供を預ける場所のない保護者への救済策が待たれるところです。何度も早退したり休んだりすることで職場に居づらくなる方もいるでしょうし、場合によっては職を辞めざるを得なくなるかもしれません。

会員の皆様の事業所でも同じ悩みを抱えている従業員の方がいらっしゃるかもしれませんので、ぜひ相談にのってあげて下さい。

２　保育園や学校が休みになって仕事を休んだ保護者の支援については、コロナ対応の特別休暇制度を整えている勤務先しか申請できない「両立支援等助成金」だけでなく、今年４月に打ち切られていた「小学校休業等対応助成金」について、本年８月以降の休暇について申請を復活させるとの報道があり、今後詳細の発表があると思います。「両立支援等助成金」と異なり、「小学校休業等対応助成金」については勤務先が申請を拒否しても保護者本人が個人でも申請できるところに特徴があります。

当クラブには、従業員から助成金申請の申出があった場合に拒否される会員はいらっしゃらないとは思いますが、仮に何らかの事情により申請に協力できないとしても、仕事を休んだことの証明書だけでも発行して頂ければ手続を速やかに進めることができますので、ご配慮をお願い申し上げます。

（会長時間）

１　引き続き、会長時間です。病気の話しばかり続いて申し訳ありませんが、先月より、カネミ油症の次世代調査が開始されました。

カネミ油症事件は九州北部を中心に発生した、PCB等の混入した食用油を食べたことによる中毒事件で、黒い赤ちゃんが生まれて亡くなったとセンセーショナルな報道がされていたということです。

私の生まれた五島列島では患者が多く、私の祖母、叔父等親戚の多くが認定患者として治療等を受けてきました。

カネミ油症の症状は多岐にわたっており、そのすべてのメカニズムが解明されているわけではないことから、カネミ油症の認定基準が不明確となっていました。そのため、油症患者と認定された方は症状を訴えた人達のうち2割にも充たず、その後患者と認定されず国が被害者救済のために仮払いしたお金（数百万円）を返還しなくてはならなくなって自殺された方もいらっしゃいます。

原因物質については、近年、PCBが加熱されてできたダイオキシン類のPCDFやCo-PCBの可能性が強いとの見解が示され、認定基準に血中ダイオキシン濃度が追加されましたが、人体への影響が多岐にわたるため、認定が困難なことには変わりありません。

また、原因物質が内分泌攪乱化学物質の恐れがあるということで、次世代にも影響が及ぶのではないかとの研究がなされていることもあり、いまさらですが、私も含めた認定患者の次世代親族にも全国調査をすることになったとのことです。

２　昨日（13日）、私のもとにも九州大学医学部から突然調査票が届きました。調査票の内容は生まれた時の話し等自分では不明な点も多く、結局親類に聞かないと分かりませんでした。

カネミ油症の人の症状例として、生まれた時は未熟児、強度の近視、アレルギー症状、鼻炎になりやすい、全身の疲労感、慢性中耳炎、胃腸が弱い、扁桃腺肥大等が書いており、そう言われると自分もほとんど当てはまりそうで鬱になってきました。よく、家庭の医学等の本を読むと、読んだ人が皆自分が病気だと思い込んで具合悪くなるのと同じでないかと思います。

３　汚染油を販売したカネミ倉庫は、油にダイオキシン類が含まれていることを知った後も製造を継続して被害を拡大させた点が強く非難されております。他の公害・中毒事件同様、2度と同じ過ちを繰り返さないよう、消費者を相手とする企業には事件を風化させずに語り継いで頂く必要があると思います。

皆さんこんにちは、雑誌会報広報委員会の河野です、今月は「ロータリーの友月間」になっています、例年なら、第一例会の時に、委員会アワーとしてロータリーの友を皆で読んで感想を頂くのですが、コロナ禍の中例会も休会になっていますので、今回は、「ロータリーの友手引書」を読んでいただきたいと思います。

https://rotary-no-tomo.jp/tmp/info/tomo_tebiki.pdf　にアクセスして「ロータリーの友」を理解してください。

9 月 29 日

1　みなさん、こんにちは。

宮崎県内の新型コロナ患者発生が落ち着いてきてきました。宮崎県による日南串間圏域の赤圏域指定が解除され次第例会を再開したいと思います。ただ、このシルバーウィークの間、県外ナンバーの車が普段より多く見かけられましたので、まだまだ油断は禁物です。会員の皆様も警戒を緩めることなく感染対策を十分とるようにして下さい。

先週，私もようやく2回目のワクチン接種を終えました。1回目の副反応で日常生活に支障が出るほどだったので、２回目は念のために二日予定を空けていたのですが，多少接種部位が痛むくらいでした。

ほとんどの方がワクチン接種を受けられたことと思いますが、以前峰松先生がお話しされていたように、ワクチン懐疑論者による怪情報が流れ、アマゾンでトンデモ本がベストセラーになる等していることから、私の周りにもワクチン接種をすることを迷っている方が結構いらっしゃいます。どちらかと言えば高学歴で社会的立場のある方に多く、コロナワクチンの仕組みを専門用語を使って詳しく説明してくれるのですが（私にはさっぱり分からないのですが）、最後には、だから自分は打たないしあなたも打たない方がいいと力説されていました。

何が正しいのか私は専門家ではないので分かりませんが、社会全体としてワクチン接種をして免疫をつけようという取り組みがされている中、ワクチン接種は個人の自由であることから自分が接種しないのはいいのですが、周囲の人まで自分の意見を押しつけようとするのは辞めて欲しいなと思いました。

2　台風14号により日南線と海岸線が寸断されて2週間になろうとしています。通勤通学だけでなく観光に大きな影響が出ていることは報道のとおりです。

日南から宮崎市内の私立中学高校に通学しているお子さんを持つ保護者は、毎日車で送り迎えをして疲れ切っているという話しをお聞きします。バスによる代替運行が27日から始まりましたが、宮崎駅までであり各学校まで自家用車で送り迎えを継続している保護者の方もいらっしゃるようであり、一刻も早い日南線の復旧が望まれます。

JR九州の昨年度の営業損益が公表されたのが先月で、日南線の田吉～油津間は赤字幅九州第３位となったと公表されたばかりです。公表された１キロメートルあたりの１日の平均通過人数（輸送密度）が2000人未満の九州内全線区の赤字総額の約12パーセントを日南線がたたき出したとの発表がなされた直後であり、今回の日南線寸断は本当に間が悪いと言わざるをえません。

ちなみに、日南線の田吉～油津間の昨年度の１日あたりの平均通過人員は９３４人で、油津～志布志間は171人です。この程度の輸送しかしていないとなると、もはや公共交通機関としての役割すら果たしていないと言わざるを得ません。JR九州はホームページに各データを公表していますが、廃線に向けた地ならしということだと思います。

経済合理性を考えれば何十年も前に廃線になってしかるべき状態であったのであり、民営化の時点で即座に廃線にすべきところを何とか生き延びてきた日南線ですが、JR九州の大株主であるアメリカの投資ファンドは物を言う株主として株主提案を数多くしており、経済合理性に反して維持されている日南線がこのまま廃線にならないことを祈りたいと思います。投資ファンドが、日南線は地域住民の生活路線であるとの説明だけで納得するわけはなく、バス等の代替路線の整備・維持費用，運送人員等と、日南線を維持する経費、公的資金による援助の可否との比較で、日南線を維持する高度の必要性を証明できない限りは廃線にすべきという結論しかないと思います。

人口が激減している中で、全ての地域の住民を満足させる公共政策を維持することは今後不可能であり、少ない人的物的資源を特定の事業に集中的に投資することが、今後は必要になっていくと思います。切り捨てられる地域の方々には酷ですが、縮小していく社会の維持のためにはやむを得ない選択で、日南線に公的資金を投入することは絶対にすべきではないと思います。宮崎交通からのバス路線維持のための公的資金投

入要請を直ちに拒絶した日南市ですので、日南線の路線維持のための公的資金投入はしないと信じたいです。

３　犬や猫をペットとして飼っている会員の皆様も多いと思いますが、本年度より犬猫等販売業者にマイクロチップの装着義務が課され、買主も氏名・連絡先の変更があった場合は変更届をする義務が課されました。すでに飼育している犬猫については努力義務とされていますが、大震災時に買主とはぐれた多くのペットが問題となったことから、今回のマイクロチップの装着義務化は、震災時のペット保護にも役立つものと期待されています。

　近時、ペットの保護や無責任な買主の廃除のため、ヨーロッパで導入されているような犬税を導入すべきとの議論もなされています。実は日本でも1982年まで地方税の一つとして犬に課税されていました。税額や課税犬種等は各地方公共団体ごとに異なっていたため、日南市でどのような課税がされていたかは存じませんが、近年の犬税導入議論については反対派が多く実現に至っておりません。ちなみに，ヨーロッパで犬税を導入しているのは、ドイツ、オーストリア、オランダ、チェコ、スイス、フィンランド等です。ドイツでは、一頭目が120ユーロ（約15000円）、2頭目から180ユーロ（約23000円）が課税されます。

無責任な買主が増えると犬税導入賛成派が増えるかもしれませんので、犬猫を飼育されている方は適切な飼育を心がけて頂きたいと思います。

事務局〒887-0014　日南市岩崎3-4-2 Itten堀川ビル2F創客創人センター内TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515
会長：豊田裕康　　副会長：入中英雄　　幹事：簗瀬敦　　雑誌会報広報委員長：河野通郎
雑誌会報広報委員会より　　原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。